日光市広報

10月号（通44号）

毎月1回1日発行

発行
栃木県日光市中鉢石町999
日光市役所
編集　総務課統計広報係
印刷　中津印刷所

市民の夢を実現させた国鉄

九月二十二日

日光線電化完成

湧きあがる市民の歓声の中をツートンカラーのデラックス準急電車がホームにすべり込む。日光発展史に永久に刻まれる一瞬、昭和三十四年九月二十二日待望の日光線電化工事完成により電車が開通したのだ。花火が打ち上げられ、花吹雪が飛び、消防音楽隊の演奏、喜びの市民の歓迎の中に国鉄十河総裁以下関係者が降りたつ。出迎えるのは佐々木日光市長、神山市議会議長他関係者、市民。十河総裁、運転手、車掌、島根県から日光見物に来た六十七才の老婆が乗客代表に選ばれて、それぞれに花束を受ける。

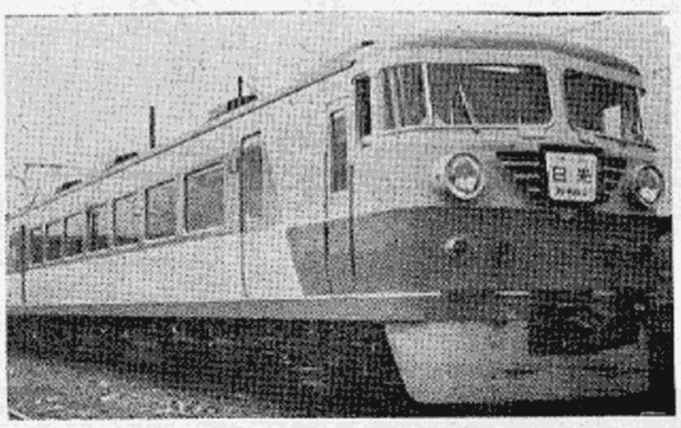
十一時から公会堂で開かれた開通祝賀式には十河総裁が「電化開通式にあたり、地元の努力を感謝する。将来は日本中の全部の線路に煙の出ない列車を走らせたい」と挨拶、次いで、日光線電化促進期成同盟会長横川知事は「国鉄が日光線を重要視して、電化を実現されたことに敬意を表する。感謝の気持でいっぱいだ。これで世界に誇る日光国立公園が、さらに発展することは間違いない」と述べ、市長も挨拶の中でその喜びを述べた。

日光線電化の起工式が公会堂で行われたのは、昨年十二月二十四日、以来九ケ月で完成にこぎつけたスピードぶりは国鉄でも異例のことだろう。更に電化完成と同時に、全列車が電車に切りかえられた事も国鉄始まつて以来のこと。日光線の様な支線区に東海道線特急「こだま」級のデラックス新造車が運転されることもまず他に類のない事と云わなければならない。

新型電車デラックス準急をさぐる

今回の電化完成で、日光発の列車二十本は全部電車に切り替えられた。このうち二本の準急（準急は三本）に使用されるのが〝こだま〟級新型電車のデラックス電車。十六時二十分中禅寺号（新宿行）十七時十分日光号（東京行）の二本がこれで、日光号は日光ー上野間を一時間五十一分でつつ走ることになる。

このデラックス電車は車体の色が〝こだま〟と同じような赤とクリームのツートンカラー、車両の構造は東海道本線を走っている準急用東海型とほとんど同じ軽量構造編成で先頭は半流線形になつている。車内は観光電車にふさわしい快適な設備がほどこされ二等はエンジ色のリクライニングシート、三等はテーブル付の回転出来るロマンスシートになつている。窓は各車とも全開できる下降式でアルミニューム窓枠を使用し、三等車の腰掛二列に対し一個の大きな明るい窓、カーテンは横引式で窓がある以外はすべて〝こだま〟と同じ。二両目と五両目の三等車には鉄道弘済会の売店もある。



赤い羽根
―共同募金始る―

「赤い羽根」募金運動が始められて、今年で十三年になる。その間この募金運動の趣旨に賛成して集められた募金も相当な額になるが、この尊い金は、数々の社会福祉事業に使用されて来た。県の募金会が定めた今年の目標額は二※千万円と、昨年より大巾に増額され、このうち日光市が受持つ目標額は六十五万円となつている。その募金運動が例年の通り十月一日から行われる。

不幸な人が一人でも減り、明るい生活が出来るように募金に協力しよう。

共同募金
たすけあいの心を倍に！
日光市

毎月十五日は
日光市清掃日
お宅のまわりをきれいに

市民のために
活躍する人々（2）

給食のオバサンたち

小学校の門をくぐると、昼には間があるのにいい匂いのする部屋がある。その部屋が給食を作つている調理室だ。大きい釜の並んだ前で、給食のオバサン達は、ミルクをわかしたり、野菜をきざんだり、食器を洗つたり、目の廻るほどの忙しさ。お昼の時間に間にあわせるために一生懸命だ。現在市内にある小学校の数は分校を含めて九つ、その全部の学校で完全給食を行つている。給食を作つているオバサン達は、市から十二人、PTAから十四人の計二十六人。ほかに栄養士が二人いる。学校の公仕さんや給仕さんも手伝うから、給食にかかる手間はたいへんなものだ。蛋白質二十五グラムを含めて一食六百カロリーを上まわること…給食には基準があつて、それに消毒も完全でなければならない。それでもカルシウムとビタミン類が不足がちとのこと……どんどん作られて行くのを見ていると、実際にたいへんな量なので驚く。子供達の盛んな食欲を、科学的に管理する給食のオバサン達の苦労も並大抵のものではない。

台風復旧の補正予算など
第三回定例市議会

第三回日光市議会定例会は、九月十六日開会され、議案二十三件、報告一件を審議して、二十八日閉会した。主なるものは昭和三十三年度の一般及特別会計の決算監査報告があり、一般会計は、才入二億三千五百二十六万四千百七十五円、才出二億二千五百七十四万六千三百五十六円、差引残高九百五十一万七千八百十九円。特別会計日光市国民健康保険費才入、一千七百六十万八千八百九十円、才出、一千六百五十八万九千六百三十六円、差引残高、百一万九千二百五十四円、特別会計上水道事業費、才入、三千五百八十五万二千四十八円、才出、三千二百六十九万四千五百四十九円、差引残高三百十五万七千四百九十九円、特別会計スケート場費、才入、二百六十七万三千八百十円、才出、二百六十万二千四百十二円、差引残高、七万一千三百九十八円、特別会計小来川財産区才入、一千七万七千三百十七円、才出、九百四十九万二千七百二十一円、残高、五十八万四千五百九十六円がそれぞれ認定された。又今回新らしく特別会計としてユースホステル費が設定され二百八万九千五百円が計上された。又第二次追加更正予算も提出され、一般会計一千四百五十三万三千六百円、特別会計日光市国民健康保険費、百二十五万五千円、特別会計上水道事業費百六十一万七千五百円もそれぞれ議決された。（補正予算説明は二面参照下さい）

展望台

あんなに多くさん居た燕が、居なくなつた。観光シーズンの中秋を迎える、昨年を上まわる黄金の稲穂、運動会の歓声……それらに増して市民の大きい喜びは、日光線の電化完成であつた。これによる来晃客の増加も当然考えられ、市民憲章公布後のシーズンとあつて、その実践如何が大事な問題だ。電化によつて古き良き時代の蒸気機関車を送る。飛び去つた燕は、又来年の春、きつとやつて来るが、別れ去つた機関車は再び現れることはあるまい。あの機関車がになつていた信頼と感謝を今度は快速力の電車がになうのだ。大きくぬりかえられた日光発展史の一頁をめくりながら、我々日光市民は自覚を新らたにしよう。そして我々日光市民は、旅行者を温かく迎えよう。

10月のメモ

- ▽新聞週間　1日から　報道の自由と責任を
- ▽全国労働衛生週間　1日から　工場事業場の労働衛生
- ▽国際文通週間　4日から　国際理解の増進に
- ▽眼の愛護デー　10日　眼を大切にする運動
- ▽貯蓄強調週間　11日から　生計費の合理化を
- ▽薬の知識普及運動　月間　薬の正しい使用を
- ▽鉄道記念日　14日　鉄道を愛する運動
- ▽全国交通安全運動　16日から　交通事故は防げる
- ▽踏切安全運動　16日から　左右確認第一
- ▽結核予防週間　25日から　早期発見、定期受診
- ▽読書週間　27日から　読書奨励、良書推選
- ▽第十三回芸術祭　2ケ月間　国民の文化教養向上
- ▽赤い羽根共同募金　12月まで　たすけあいの心を倍に

狩猟講習会の開催

県林政課では狩猟の規定によつて狩猟に関する講習会を開催する。狩猟免許を受けようとする人は必ずこの講習を受けることと、日光に一番近いのは今市公会堂で開かれるもので、今月九日、午前九時から、印鑑、筆記用具、上ばき携行のこと。

☆

観光客への親切運動

秋の観光シーズンを迎え観光客えの親切運動が実施される。県観光協会の提唱で十月十五日から二十五日までの間は、観光事業従業員全員が親切運動のリボンを胸につける。

☆

陸海空自衛官募集

志願受付　八月二十四日～十月十日
年令　一八才～二十五才未満
採用試験　十月十九日～十一月八日
入隊　三十五年一月から
待遇　一等陸海空士。初給六、四〇〇円
営（艦）内居住、他に衣食住支給

詳細は市役所総務課庶務係にお問合せ下さい。

けん銃などの届出運動について
◇・・・・日光警察署から・・・・◇

警察では、九月一日から十月三十一日までの間を「けん銃などの発見届け出運動月間」と定め、けん銃、猟銃、空気銃、刀剣類などを発見したときは、すみやかに届け出ていただくことになりました。特に、けん銃は、ご承知のように街の暴力団や、ぐれん隊その他の不良者に悪用され、強盗、殺人などの兇悪犯罪に用いられやすいので、どんな理由があつても一般の方々がけん銃を持つことは許されません。

皆さんのうちで、もし旧軍隊のものや海外から持ち帰つたもの、又は先代の遺品、記念品などの理由で持つていたり、うつかりしまい忘れている方がありましたら、この際警察に届け出て下さい。発見して、すみやかに警察に届け出た方は、処罰を受けません。今後ともけん銃を持つことを許されるようなことはありませんから、どうぞお心あたりの方はこの際警察に届け出て下さい。

また猟銃、空気銃、刀剣類などは、届け出れば特に支障のない限り、正式に持つことが許されますから、所持許可を受けていない方も、この際警察に届け出て、手続をとるようおすすめいたします。